

(明治三十三年が脱けている)

一月

三日

朝帰舎

七日

影山帰舎

八日

渡辺、森、辺見、久保、井街帰舎、井街元職
二付ク

十四日

奥井帰舎、黒河内帰舎、本庄帰舎

十五日

水野帰舎、石沢農事試験ノ都合ニテ農園ノ寄
宿舎へ暫時転ゼリ

廿七日

午後久保帰舎

二月

三日

午後七時半ヨリ規定ノ集会ヲ開ク、舎長宮部
金吾氏舎内ノ整理ヲ議ス、而シテ次ノ規定ヲ
設ク、撰挙ノ決果左ノ如シ

委員四名ヲ置ク

会計委員 黄金井解三

賄 委員 川口順次郎

衛生委員 池田 競

記録委員 廣瀬久雄

任期八一学期間、再撰スル事ヲ得、
議終リテ茶菓ノ興応アリテ拾時ニ散会ス

六日

農学校予習科？年級竹尾茂彦入舎ス

二拾三日

中学校生徒水野義雄帰省（午後六時）

廿四日

午後二時久保地治衛帰舎ス、午後森四郎帰省
ス（風邪ノ為）

廿八日

此月下旬ニ至リテ舎内ニ風邪ニ侵サレ臥寝ス
ル者多シ、早キ者ハ一日、遅キ者ハ一周間ナリ
、然レドモ差シタル大患者無シ、之幸ナリ

三月

十三日

規定シタル食時ヨリ一時間ヲ経過シテ食器ヲ
撤去スベケレバ左様注意アリタシ

但シ晚餐八二時間を経過して後食器ヲ撤去
ス

院長ノ許可ヲ経、廣告ス

拾六日

今般澤庵漬ニハ醤油ヲ供用スル事ヲ禁ズノ議
定アリ、廣告サル

廿 日

水野義雄午後帰省ス

廿二日

渡辺虎雄午後帰省ス

廿九日

久保地治衛、奥井信三正午帰省ス、又
病氣ノ為北辰病院へ入院ス

卅一日

規定ノ集会ヲ午後七時ヨリ開ク、舎長宮部氏
来会シ、第一着ニ議題トシテ此寄宿舍ニ関係
アル者ハ飲酒喫煙ハ禁ス可キヲ提出シタリ、
然ルニ尤モ当時ハ春期休業ナル為メ或ハ帰省
、或ハ旅行等ニテ出席者ハ拾五名タリシモ一
同異議ナク之ヲ可決セリ、其次ギ会計掛ヨリ
数件ヲ発言サル

- 一 舎費八月ノ上旬ニ納ムル事 可決
- 一 舎費増加ノ件 可決
- 一 中途止食者ハ割増ノ件（一周三割二周二割三周一割）可決

- 一 三日間以上止食スル者ニ限り引ク、可決
但シ前以テ食事委員ニ通知セザル者ハ此限
リニ非ズ

等ニシテ次ニ注意トシテ次ノ数件ハ通過セリ

- 一 玄関開放無用ノ事
- 一 他人ノ下駄ヲ穿タザル事
- 一 遊歩等ノ為メ永ク他出セザル事
- 一 就寝時刻一定ノ事
- 一 衾中ニテ読書セザル事、

等ナリ、次ニ委員改撰ス、以前ニ同ジ

次点者ハ米山、辺見、影山、竹尾君等ナリ、
後、茶ヲ飲ミ菓子ヲ食ヒ、拾時半散会ス

四月

一日

小川良五郎、高杉先生ノ宅へ宿ス（証明アリ）
広瀬久雄小樽へ旅行ス
影山滋樹モ此日小樽へ旅行ス（此日食事セズ）

二日

広瀬久雄帰舎ス

五日

夕方、影山滋樹帰舎ス

六日（金曜日）

塩見亮（工科一年生）退舎ス

七日（土曜日）

午後渡辺虎雄帰舎ス

八日（日曜日）

奥井信三帰舎ス（午後四時過ぎ）

九日

夕方中学生水野義雄帰舎ス

拾日

朝工科三年生久保地治衛帰舎ス

拾二日

午後五時工科三年生久保地治衛退舎ス

拾四日

中学五年生吉田守一舎へ入ル

拾六日

兼テ入院中ナリシ池田競殆ド快方ニナリシヲ
以帰舎ス（午後六時）

廿七日

中学生青木三哉入舎ス（夕方）

五月

五日

中学生渡辺虎雄正十二時帰省ス

拾五日

中学生渡辺虎雄規則ヲ犯シ契約ニ違ヒシヲ以退舎ヲ命ズ

拾九日

予習科一年生影山滋樹退舎ス

廿日

末光績入舎ス

廿六日

午後三時中学生奥井信三帰省ス

廿七日

黒河内英馬退舎ス、夕方奥井信三帰舎ス

六月

卅日

午後一時ヨリ新築寄宿舍へ移転ス夕方ニ漸ク終リ其ヨリ祝意ノ馳走アル食後茶菓ヲ喫シ談笑数時、散ゼシ八拾二時ナリ
工科生逸見勇彦親族へ歸る

七月

一日

紀念ノ為メ宮部舎長ト寄宿生一同新築舎ノ入口ニ於テ写影ス
中学生稲川二郎入舎ス

七日

安部忠一（九州ノ人）入舎ス

八日

工藤敏雄入舎ス

拾日

小川良五郎帰省ス

拾一日

河野孝太入舎ス

拾九日

午前二三吉帰省シ夕方水野帰省ス
此日川口順次郎、竹尾茂彦、青木三哉定山溪へ行く、森四郎帰省ス、広瀬久雄拾三日ニ定山溪地方へ旅行シ此日ニ帰舎ス

廿日

末光績、吉田守一帰省ス、稲川二郎、小帰省ス

廿一日

午後三時ヨリ新築寄宿舍ノ落成式ヲ成ス、寄宿生ノ外来会者六拾名許リ、屋前ノ樹下ニ幕ヲ張り枝ヨリ枝ニ萬国旗ヲ引キ簡単ナル式場ヲ於テアリシ、先ズ宮部舎長ノ舎ノ歴史ヨリ論ジ寄附者ノ厚意ヲ謝スルノ辞ヲ述ベラレ、森広氏ノ報告次ニアリ、其ヨリ中学校長ノ規立ノ下ニ青年ヲ養成スルノ必要ナル事ノ有益ナル演説アリ、次ニ片山氏ノ次ニ農学校長佐藤博士ノ演説アリテ黄金井氏ノ在舎生一同ノ代リノ祝詞アリ、次ギニ茶菓ヲ供シテ後、舎舎ヲ案内シテ六時ニ散会ス、ナカゝノ盛会 [入力者注：「ゝ」は「ナカ」の繰り返し、縦長の「く」]

ナリシ

廿二日
本莊義雄帰省ス
廿三日
黄金井解三定山溪へ行ク
廿五日
川口順次郎、黄金井解三、竹尾茂彦、青木三
哉定山溪ヨリ寄宿ス
卅日
午前広瀬久雄帰省ス
卅一日
午前、安部忠一岩内へ旅行の為め出発す

八月

四日
青木三哉銭函に向て出発す
五日
青山三郎入舎す
十一日
青木三哉帰舎す
十六日
井街顕帰省す
廿四日
吉田守一帰舎す
廿五日
青木三哉銭函へ出発
廿八日
本莊義雄帰省す
河野孝太帰舎す
米山豊友人千葉淳吉、田中美二郎兩人宿泊す
廿九日
青山三郎退舎す
青木三哉帰舎す
三十日
鳥居懐五郎入舎す
吉田守一外泊す
入舎申込者順序
予修壹年 藤井 紹介者 宮部八月三十日 3
森林貳年 高田 六、七月頃 1
予修一年二人 紹介者 橋本銀次郎 4
中学 一人 神 5
中学 一人 紹介者 佐藤誠之助九月一日 6
中学四年生武田平三郎紹介者川上滝弥九月三日 7
学生 一人 紹介者 菅原 八月廿七日 2

九月

四日
水野義雄帰舎ス
六日
億位信三帰舎ス
七日
安部忠一帰舎ス
八日
夕方水野義雄帰省ス、広瀬久雄帰舎ス、此日
七時ヨリ宮部舎長臨席常集会ヲ開キ常ノ如ク
舎二関スル評議ヲナシ建議等モアリシガ之八

決定シ兼ネタルヲ以テ次回ニナス、次ニ注意トシテ米山豊氏発言ニテ就寝時間後ハ高声ニ談話セザル事、漱盥ノ時ノ注意、又黄金井解三氏ハ就寝時間后ニハ外来者ヲ止メ置カサル事、又池田競氏ハ下駄ヲ整理スル事等ノ事ヲ注意ス、元ヨリ異議者ナシ、次ニ委員ノ改撰ヲナス、其投標ノ決果ハ次ノ如シ、次点者ハ略ス

| | |
|---------|-------|
| 拾五点（会計） | 小川良五郎 |
| 拾五点（衛生） | 米山 豊 |
| 拾 点（賄） | 池田 競 |
| 拾四点（記録） | 広瀬久雄 |

互撰シテ頭書ノ如ク定ム、後雑談ヲナシ茶菓を飲ミ旦ツ喰ヒテ舎生一同快満テ九時半ニ散会ス、朝来ノ降雨ニテ道路泥深キニ舎長ノ熱心深謝スル処ナリ

吉田守一、小川二郎氏ノ家ニ泊ス、証明書アリ

九日

中山光五郎、末吉保造、丸山伝太郎ノ三氏參觀セラル、河野孝太輕川ヘ行ク、川口順次郎本科寄宿舍ヘ移転ス、池田競都合（自分ノ）ニヨリ大通リ段氏ノ宅ヘ移転ス、依テ舎長ノ指命ニテ次点者竹尾茂彦ヲ賄委員トナス

拾日

水野義雄歸舎ス

拾一日

米山豊遅刻ス、証明書アあり

拾 日

南二条東一丁目一番地宮城屋方予修科一年小泉藤之助（水戸ノ人）、全坂本太次郎（青森）右本日入舎ヲ申込ム

拾五日

井街頭歸舎ス、歸宿舍ノ為功勞アル会計委員黄金井解三本科寄宿舍ヘ転ズ、奥井信三歸省ス、

拾六日

中学生奥井信三歸舎ス

拾八日

中学四年生武田平三郎入舎ス

拾九日

鳥居懐五郎歸省ス

廿二日

中学生奥井信三、森四郎、青木三哉、本莊義雄、水野義雄修学旅行ス

廿四日

奥井信三歸舎ス

廿六日

本莊義雄歸舎ス

廿七日

水野義雄貴舎ス

拾月

一日

森四郎、青木三哉修学旅行ヨリ歸ル

拾一日

鈴木力活入舎ス（予修科一年級）

廿一日

夕方橋本健三郎入舎ス（予修一年）

倉賀野為男退舎

廿一日

午後六時ヨリ常集会を食堂に開く、宮部舎長臨席せらる、第一に役員改撰を為す、以前の如く結果にて再撰となる、其役割も変更無し、其より三月に定めたる飲酒の事を、又喫烟は次の如く改定す

飲酒喫烟は舎の内外を不問之を禁ず

次に茶菓を供へて遊戯を為し快を満して拾一時閉ず

廿二日

本莊義雄帰省ス、武田平三郎休業中外泊の為出づ

廿八日

藤井為治郎入舎ス

拾一月

三日

午後六時より創立紀念の会を開く、宮部舎長は病氣之為に出席せられざりしが、高杉先生来られ一場之講演を為す、井街君は簡単に舎の歴史を述べらる、後汁粉と豚飯に空腹を満し其より遊戯を為す、数種を為し、中途辞せし人ありと雖も充分之快を持ちたるは知らる、而して散ぜしは拾二時なり、此日は青年会の役員を招待す、逢坂信吾入舎す

拾三日

午後予修科一年三宅於菟松入舎ス

十二月

三日

池田競帰舎ス、水野義雄帰省ス

拾八日